

# ちがう国でも同じこと ～モンゴルと日本の暮らしを比べてみよう～

小学校低学年 小学校高学年

小学校中学年 中学校

## ESDの要素

持続可能な社会づくりの構成概念

多様性

相互性

有限性

公平性

連携性

責任性

ESD視点で育みたい能力/態度

【批判】批判的に考える力

【未来】未来像を予測して計画を立てる力

【多面】多面的、総合的に考える力

【伝達】コミュニケーションを行う力

【協力】他者と協力する態度

【関連】つながりを尊重する態度

【参加】進んで参加する態度

## プログラムの目標

- ①モンゴルの食べ物、音楽、衣服、家、模様、言語などの生活や文化を体験し、日本とモンゴルの違うところと同じところを知るとともに、その違いがどのような自然環境の違いを背景として生まれたかを理解する。
- ②世界には自然環境の多様性に依拠して、さまざまな産業、生活、文化があることに気づくとともに、自分の住む国や地域にも興味を持つ。
- ③モンゴルの遊牧民の暮らしが自然環境と調和したものであることを理解し、自分たちの生活が自然を破壊していないかふりかえるとともに、資源を大量に消費する生活に向けて何をすべきかを考える。

## プログラムの概要

モンゴル民族の伝統的な生活や文化を体験し、日本とモンゴルの違うところ、同じところを学ぶ。世界には、自然環境の多様性に依拠して、さまざまな産業、生活、文化があることに気づき、自分の住む国や地域（那須地域）の産業、生活、文化がどのような自然環境を背景として成り立っているかについて興味を持ち、体験を通して掘り下げて考える機会を設ける。また、水や電気など利用できる資源が限られるモンゴルではどのような工夫をして生活するかを知り、資源を濫用せず、自然と調和した生活様式を構想する。最終日には各々の表現方法で調査結果を発表し、知識を共有し、互いに深めあうとともに、コミュニケーションや表現の力を高める。

## 学習指導要領との関連

学年	小学校3・4年	小学校5・6年	小学校3・4年	小学校5・6年
教科/領域	音楽	家庭	道徳	道徳
学習内容	<p>A- (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。</p> <p>イ 歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。</p> <p>ウ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌うこと。</p> <p>A- (2) 器楽の活動を通して、次の事項を指導する。</p> <p>イ 曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。</p> <p>ウ 音色に気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏すること。</p>	<p>C- (1) 衣服の着用と手入れについて、次の事項を指導する。</p> <p>ア 衣服の働きが分かり、衣服に関心をもって日常着の快適な着方を工夫できること。</p> <p>D- (2) 環境に配慮した生活の工夫について、次の事項を指導する。</p> <p>ア 自分の生活と身近な環境とのかかわりに気付き、物の使い方などを工夫できること。</p>	<p>4- (6) 我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもつ。</p>	<p>4- (3) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。</p>

# ちがう国でも同じこと ～モンゴルと日本の暮らしを比べてみよう～

## 学習指導 要領との 関連

学年	小学校5・6年
教科/領域	外国語
学習内容	1. 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、次の事項について指導する。 (1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。 (2) 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。 (3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。 2. 日本と外国の言語や文化について、体験的に理解を深めることができるよう、次の事項について指導する。 (1) 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。 (2) 日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付くこと。 (3) 異なる文化をもつ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深めること。

## 持続可能な社会の 構成概念



モンゴルには日本と異なる家、食べ物、音楽などがあることを、体験を通して知り、世界にはさまざまな文化や生活があることを理解するとともに、自分たちが住む国や地域に関心を持つ。



モンゴルの遊牧民は、限られた水、燃料、電気を使って暮らしていることを知り、地球上にある資源を有効に使って生きる方法を考える。



日本とモンゴルの燃料、電気、水の使い方を比較し、自分自身の資源の使い方をどうすべきかを考える。



資源が少ない地域では、資源の使い方を工夫して、暮らしていることを体験的に学ぶ。



小学生と中学生が共同生活を営み、最後には協力し合って学びの成果を発表する。

ESDで育  
みたい  
能力/  
態度

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕		
1時間目	<b>オリエンテーションとアイスブレイク</b> ○参加者同士がうち解ける。 ○参加者同士が知り合う。	◇体や頭を使った緊張をほぐすゲーム ◇お互いを知るための自己紹介 ◇2日間活動する調査チーム分け	批判	未来
			多面	伝達
			協力	関連
			参加	
2時間目	<b>モンゴルの【住】</b> ○参加者が協力をしてゲルを建てる。	◇ゲルの建て方は教えずに、参加者に考えさせる ◇分からない場合は、ヒントをもらい、実際に建っているゲルを見学するなど、自ら考える ◇ゲルの構造や機能について考え、日本の家屋との違いから気候や産業と家とのかかわりを考える。 [ゲル]	批判	未来
			多面	伝達
			協力	関連
			参加	
3時間目	<b>モンゴルの【飲み物】</b> ○モンゴルの家庭で飲まれている紅茶を入れる。 ○各チームで作り方を話し合い、正解を導き出す。	◇紅茶の葉以外に、さまざまな調味料や調理道具を用意し、各チームが試行錯誤を繰り返し、正解を考える ◇最後に、正解を発表する ◇日本のお茶と同じところや違いに気づき、違いの理由を考えるよう働きかける [紅茶の葉・各種調味料・各種調理道具]	批判	未来
			多面	伝達
			協力	関連
			参加	

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕		
4時間目	<p><b>モンゴルの自然と暮らし・文化</b></p> <p>○スライドを用いてモンゴルの自然環境、産業、文化、人々の暮らしを講義形式で学ぶ。</p>	<p>◇体験できない部分を、映像資料などを用いて補足する。 ◇モンゴルの自然環境が人々の産業、文化、生活に影響していることに気づくような解説を加える 〔映像資料〕</p>	<p>批判</p> <p>未来</p> <p><b>多面</b></p> <p>伝達</p> <p>協力</p> <p><b>関連</b></p> <p>参加</p>	
	 			
5時間目	<p><b>比べてみよう</b></p> <p>○体験や講義を通じて学んだことを個人、チームでふりかえる。 ○モンゴル民族の住居や食べ物が日本とどう違うか・同じか出し合い、理由を考える。</p>	<p>◇個人でワークシート（『パスポート』）に記入する。 ◇個人で記入した内容をグループで話し合い、共有する。</p>	<p>批判</p> <p>未来</p> <p>多面</p> <p>伝達</p> <p>協力</p> <p>関連</p> <p>参加</p>	
	 			
6時間目	<p><b>モンゴルの【音楽】ホーミー、馬頭琴</b></p> <p>モンゴルの音楽を鑑賞する。</p>	<p>◇モンゴル人によるホーミー（歌）および馬頭琴の演奏を鑑賞する。馬頭琴は、小学校の国語で学んだ児童もいることから、モンゴルへの親しみを感じさせる良い教材として活用する。 ◇日本の歌との違いを感じる。 〔馬頭琴〕</p>	<p>批判</p> <p>未来</p> <p>多面</p> <p>伝達</p> <p>協力</p> <p>関連</p> <p>参加</p>	
	 			

	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕		
7・8 時間目	<p>モンゴル探偵団～モンゴル模様&amp;クラフト（工作）～ 【模様】 【言語】</p> <p>○モンゴルの模様を探し、パスポートに記入する。 ○モンゴル民族の人形を製作する。</p>	<p>◇プログラム期間内に場内にあるモンゴルの模様を探し、ワークシート（『パスポート』）に記入する。 ◇モンゴルの模様を描き、模様の意味や由来を学ぶ。 ◇モンゴル人の指導によりモンゴルの小学生が遊んでいる工作を体験する。 〔紙コップ・折り紙・ハサミ・のり・ボンド・発泡ボール・毛糸・色鉛筆・マジック〕</p>	<p>批判</p> <p>多面</p> <p>協力</p> <p>参加</p>	<p>未来</p> <p>伝達</p> <p>関連</p>
9時間目	<p>モンゴルの【食】～モンゴル餃子を作って食べる～</p> <p>モンゴル人指導の下、モンゴルの餃子をつくる。</p>	<p>◇普段食べている餃子と材料や調理方法などの違いを探し、理由を考える。 〔食材、調理道具など〕</p>	<p>批判</p> <p>多面</p> <p>協力</p> <p>参加</p>	<p>未来</p> <p>伝達</p> <p>関連</p>
10時間目	<p>モンゴルの【衣】～民族衣装体験～</p> <p>モンゴルの民族が着ている衣装を着用する。</p>	<p>◇日本の洋服との違いを学ぶ。 ◇衣装の意味や工夫されている点について学ぶ。 〔デール〕</p>	<p>批判</p> <p>多面</p> <p>協力</p> <p>参加</p>	<p>未来</p> <p>伝達</p> <p>関連</p>

活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等〔教材・必要物〕	批判	未来
<p><b>調査発表</b></p> <p>11・12 時間目</p> <p>2日間で調査した内容をまとめ、班毎に調査結果を発表する。</p>	<p>◇発表方法は各班で決める（模造紙・劇・紙芝居・クイズ・テレビ番組など表現は自由）</p> <p>◇発表後は、実際にモンゴルにホームステイをした中学生の体験談を聞く</p> <p>◇日本の生活との違いを考え、資源消費量を減らした生活を構想し、自分で実践できることを考えさせる 〔模造紙・紙・マジック・ポストイット〕</p>	多面	伝達
		協力	関連
		参加	

地域プログラム化メンバー、実証協力校等

- 地域プログラム化メンバー
- ・モンゴリアビレッジ テンゲル
  - ・那須町教育長
  - ・那須町教育委員会 学校教育課
  - ・外国語指導助手～ALT～
  - ・NPO法人 那須高原自然学校

- 実証協力校等
- ・モンゴリアビレッジ テンゲル